

世界文化遺産 富士山

～信仰の対象と芸術の源泉～

2013年6月 富士山が世界文化遺産に登録されました。

世界文化遺産とは、世界中の人たちの宝物として
守っていく必要のある貴重な文化財のことです。

富士山が世界文化遺産に登録された理由は、2つあります。

1つは、富士山が昔から神の宿る山としてうやまわれ、
様々な形で信仰されており、日本人の心のよりどころ
になっているためです。

もう1つは、富士山の美しさが様々な創作の題材になり、
特に浮世絵は外国の芸術家にも大きなえいきょうを与えたためです。

三島と富士山

私たちの住む
三島市には
富士山との
深いつながり
があります



三嶋大社

富士山にまつられている木花
開耶姫命は、三嶋大社の御祭
神である大山祇命の娘である
といわれています。

エコセンター

(旧三島測候所)

富士山に中央气象台(現在の気象
庁)の富士山頂観測所があった当
時、運営や交信を行っていました。



農兵節

『富士の白雪ノーエ』か
ら始まる民謡です。歌詞
と踊りで三島の自然や
文化を表現しています。

楽寿園

楽寿園の小浜池の水は富士山
の雪解け水が湧きだしたもの
です。園内には富士山から流
れてきた溶岩もあります。



富士山憲章

～富士山を次の世代に受け継いでいくために～

- 1 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 1 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1 富士山の自然、景観、歴史、文化を後世に末永く継承しよう。